

ぎよぎょう いっぱん

ぎよぎょう あんぜん

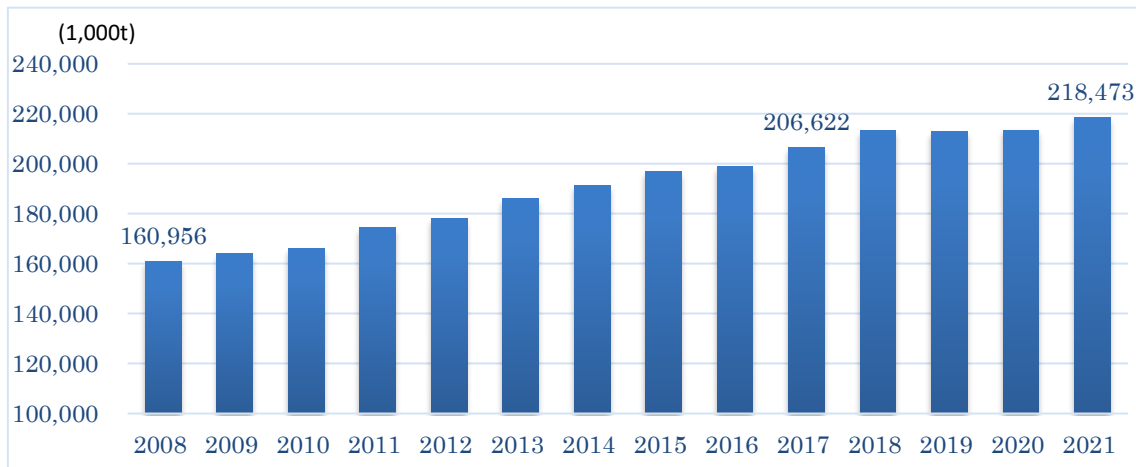
[がいこくじん ぎのうじっしゅうせい よう きょうざい]

だいにほんすいさんかい

もくじ

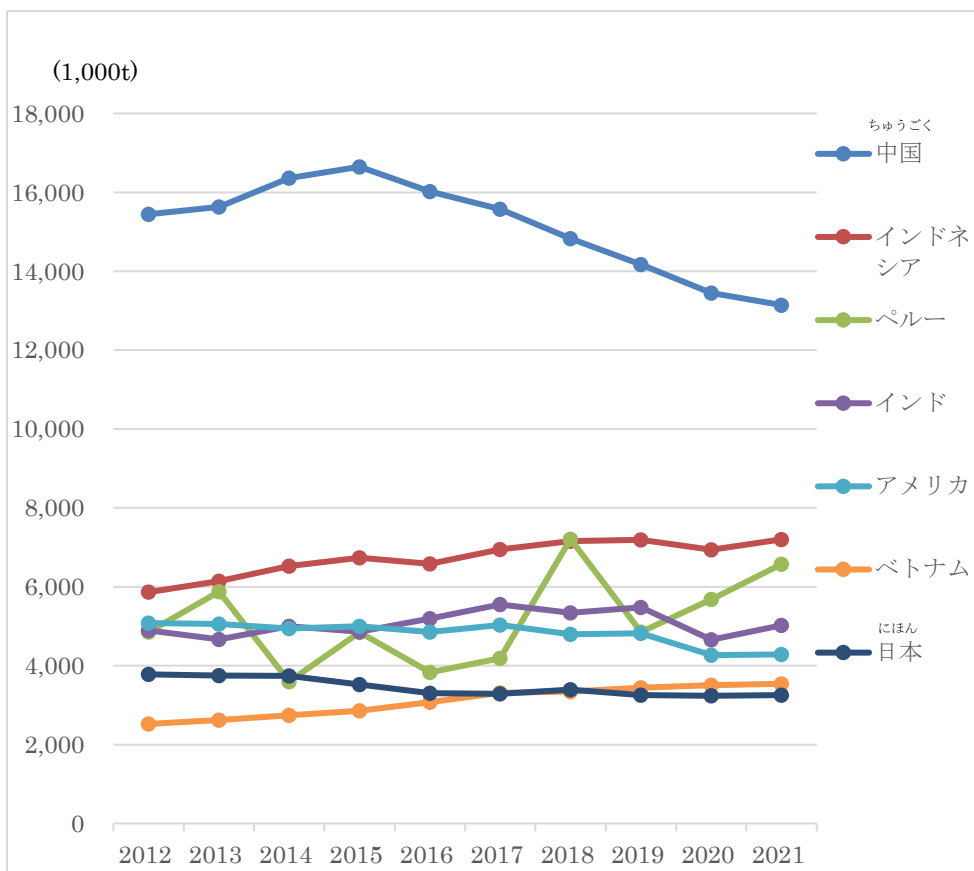
1. せかいの ぎょぎょう せいさんりょう
 2. にほんの ぎょぎょう せいさんりょう
 3. にほんで とれる おもな さかな
 4. ぎょせん
 5. ぎょせんの のりくみいん
 6. にほんの ぎょぎょう
 7. あんぜん
 8. ふねの なかの きまり
 9. まーく (しるし)
 10. ろーぷの むすびかた
 11. こんぱす、かいず、こうほう
 12. かいりゅう、たいりくだな、たいふう、つなみ
 13. ぎょぎょう ようご
- しげんを たいせつに

1. せかいの ぎよぎょう・ようしょくぎょう せいさんりょう



せかいの ぎよぎょう・ようしょくぎょう せいさんりょうは 2008ねんから 1. 6おくとん (160,000,000t) を こえています。そして、2017ねん から 2おくとん (200,000,000t) をこえています。

〇くにべつ ぎよぎょう せいさんりょう



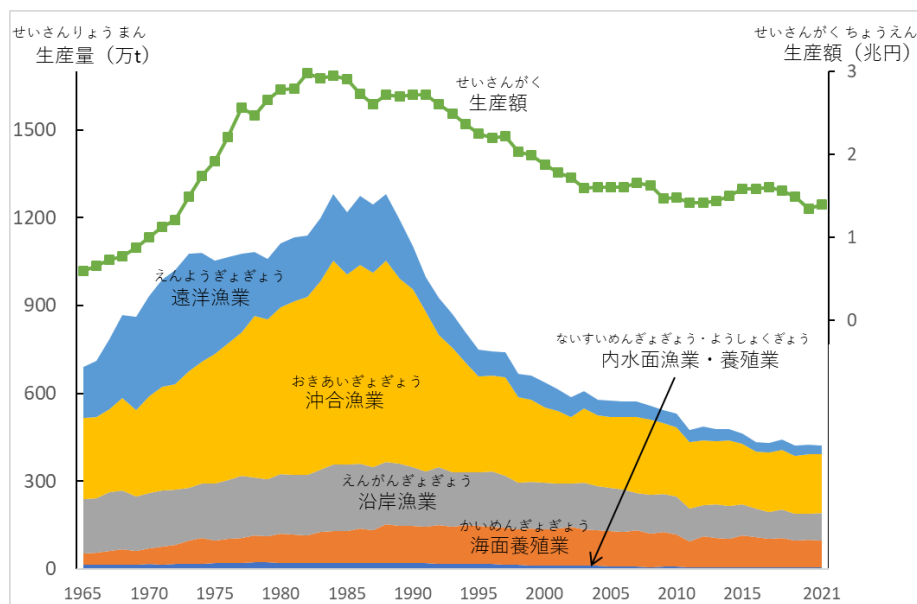
ぎよぎょうせいさんりょうのおおいくには ちゅうごく、いんどねしあ、ペルー、いんど、あめりか、べとなむ、にほん などです。

出典：水産白書（農林水産省）(https://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/wpaper/r04_h/trend/1/t1_4_1.html) を加工して作成

2. にほんの ぎょぎょう・ようしょくぎょう せいさんりょう

にほんの ぎょぎょうには、えんがんぎょぎょう、おきあいぎょぎょう、えんようぎょぎょうが、かいめんようしょくぎょう、ないすいめんぎょぎょう・ようしょくぎょう があります。

- えんがん ぎょぎょう
えんがんで ちいさな ぎょせんで おこなう ぎょぎょうです。
ていちあみや ようしょくぎょうも ふくまれます。
- おきあい ぎょぎょう
おもに にほんの 200かいり (まいる) すいいきの なかで
そうぎょうする ぎょぎょうです。
- えんよう ぎょぎょう
おもに にほんの 200かいり (まいる) すいいきの そとで
そうぎょうする ぎょぎょうです。
- かいめん ようしょくぎょう
うみで さかな や かい、かいそうを そだてて とる ぎょぎょうです。
- ないすいめん ぎょぎょう・ようしょくぎょう
たんすい (かわ や みずうみ) で おこなう ぎょぎょう と
ようしょくぎょうです



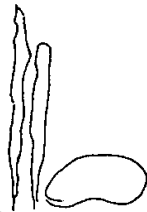
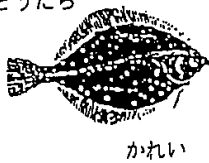
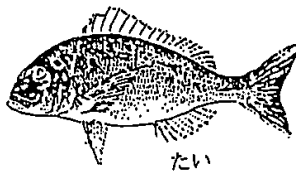
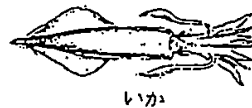
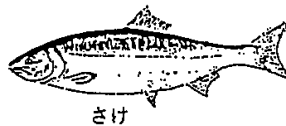
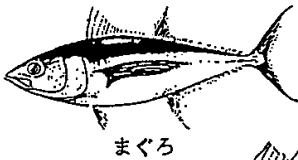
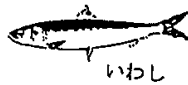
2021 ねんの ぎよぎょう・ようしょくぎょう せいさんりょう

えんがんぎよぎょう	94 まんどん	(940,000t)
おきあいぎよぎょう	202 まんどん	(2,020,000t)
えんようぎよぎょう	28 まんどん	(280,000t)
かいめんようしょくぎょう	93 まんどん	(930,000t)
ないすいめんぎよぎょう・ ようしょくぎょう	5 まんどん	(50,000t)

1989 ねんから にほんの ぎよぎょう せいさんりょうは へっています。

3. にほんでとれる おもな さかな

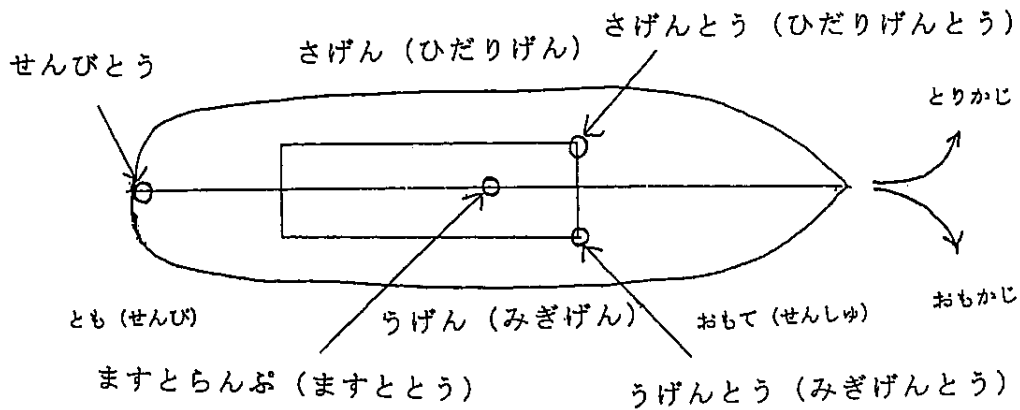
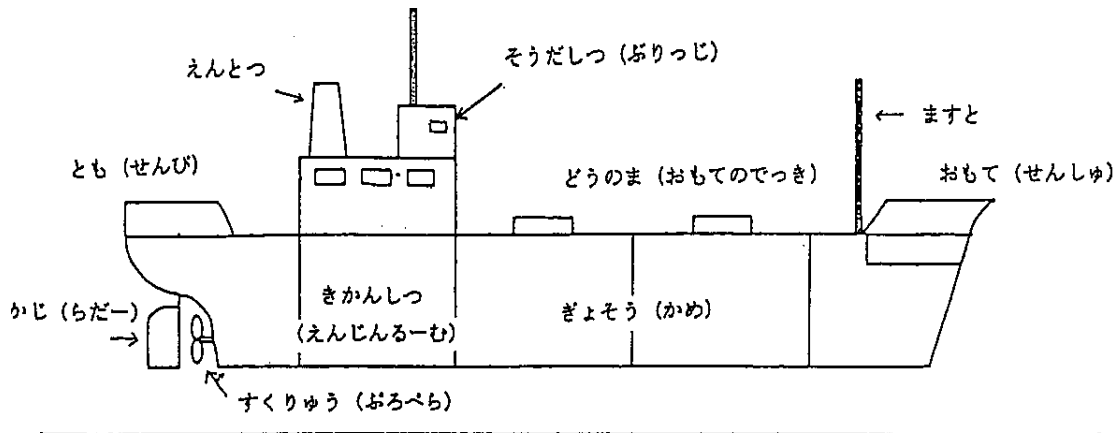
かいめん (うみの ひょうめん)



かいてい (うみのそこ)
ちかくにいるさかな

かいてい (うみのそこ)

4. ぎよせん



おもかじ	: かじを みぎに とる
とりかじ	: かじを ひだりに とる

こうかいとうの いろ

ますとらんぷ (ますととう)	: しろ
せんびとう	: しろ
さげんとう (ひだりげんとう)	: あか
うげんとう (みぎげんとう)	: みどり

ふねの ゆれかた

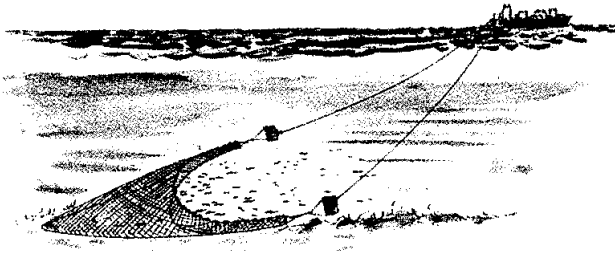
たてゆれ	: ぴっちんぐ
よこゆれ	: ろーりんぐ

5. ぎよせんの のりくみいん

ぎよろうちょう (せんどう)	そうぎょう ぜんたいの せきにんしゃ です。 せんちょうが ぎよろうちょうを かねることも あります。
せんちょう	ふねの うんこうの せきにんしゃです。
きかんちょう	えんじん れいとうきなどの せきにんしゃです。
こうかいし	せんちょうを たすけ、ふねの うんこうの しごとを します。
きかんし	きかんちょうを たすけ、きかいの かんりを します。
つうしんちょう	むせんつうしんの せきにんしゃです。
こうはんちょう	こうはんいんの しきを します。
れいとうちょう	さかなの しりや れいとうこの かんりを します。
しちゅうちょう (こっくちょう)	しょくじを つくります。
こうはんいん	ふねの とうちよく、かんぱん(でつき)の さぎょう、ぎよろうの さぎょう、れいとうの さぎょうなどを おこないます。
きかんいん	きかんの さぎょうのほか、ぎよろう れいとうの さぎょうなどを てつだいます。

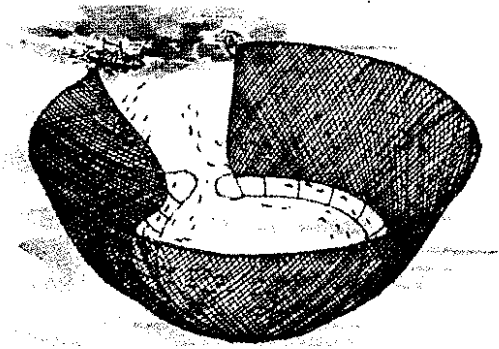
6. にほんの ぎょぎょう

にほんには いろいろな ぎょぎょうが あります。



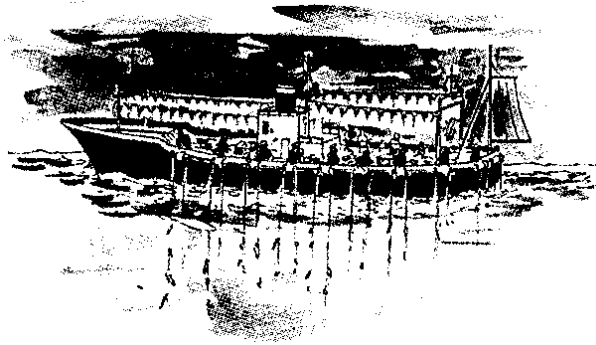
そこびきあみ：

あみを ふねで ひいて うみの
そこに すむ さかなをとります。



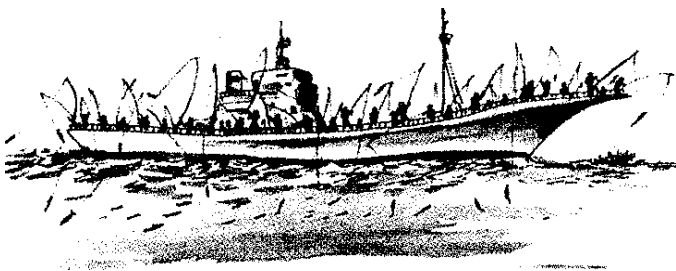
まきあみ：

さかなを あみで まいて とり
ます。



いかつり：

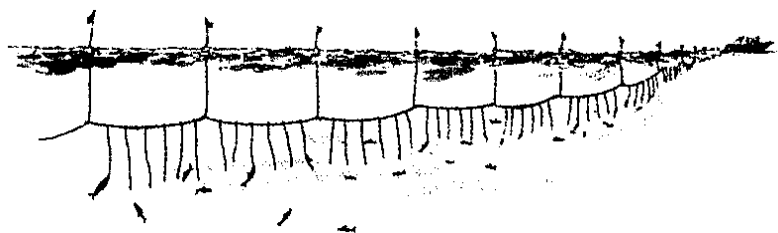
ひかりで いかを あつめ じど
ういかつりきで つります。



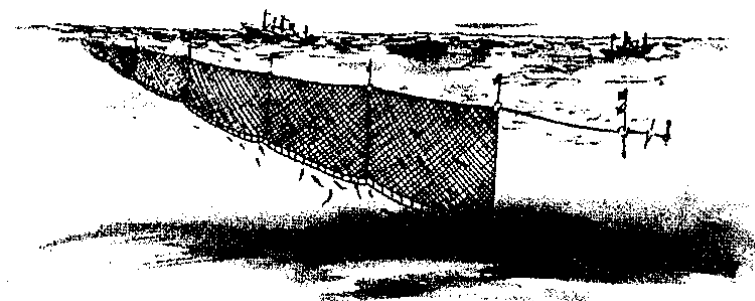
かつおいっぼんづり：

かつおの むれをさがし、いきた
えさをまいて さおで つります。

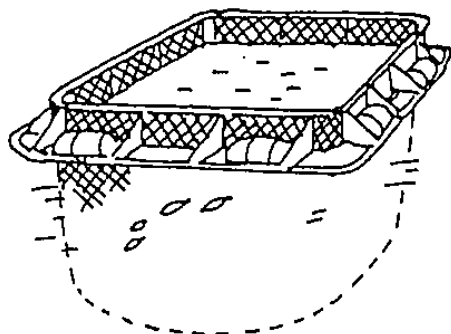
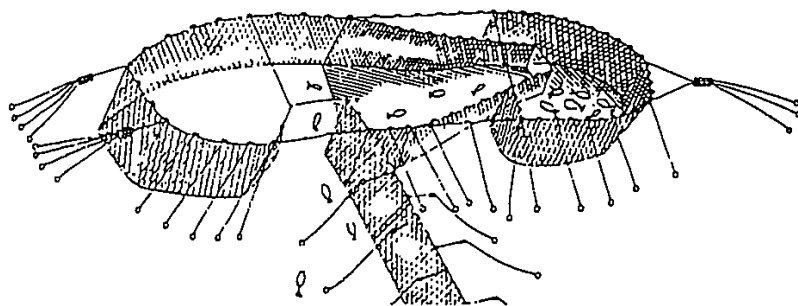
まぐろはえなわ：ながい はえなわで まぐろや かじきを つります。



ながしあみ：ながいあみを かいめんちかくに ながして さかなを とります。



ていちはみ：さかなの とおりみちに あみをはり、はいつた さかなを とります。



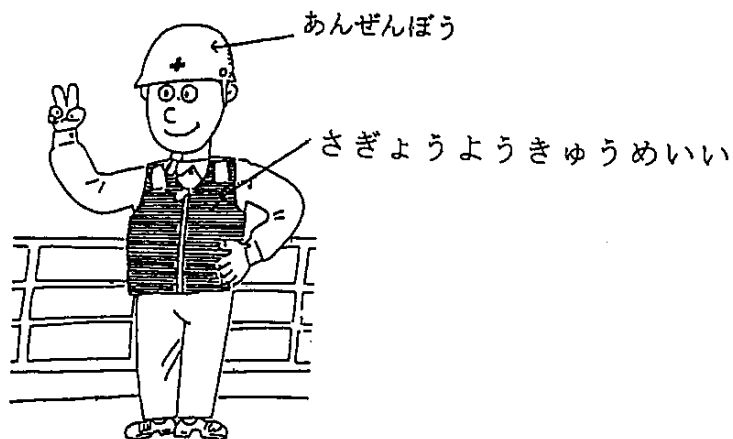
ようしょくぎょう：
いけすに さかなを いれ、えさを あ
たえて おおきく してからとります。
かいや かいそうの ようしょくも
あります。

7. あんぜん

○ふくそう

・かんぱん（でつき）での さぎょうでは、かならず さぎょうよう きゅうめいいを きます。

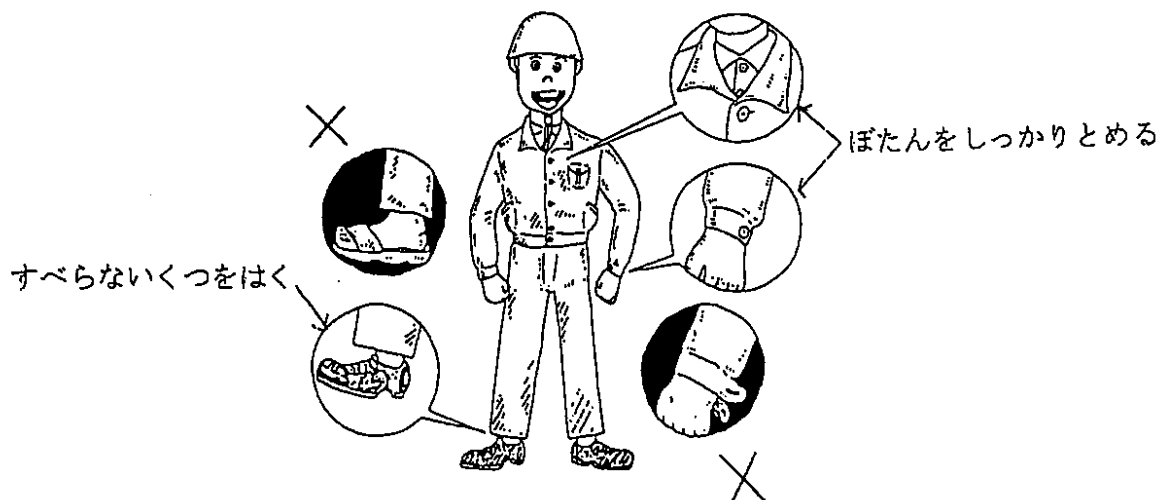
・あたまを まもるため あんぜんぼう（へるめつと）も かぶります。



・たかいところや ふねのそとに からだを のりだして さぎょうをするときは、あんぜんべるとや いのちづなを つかいます。

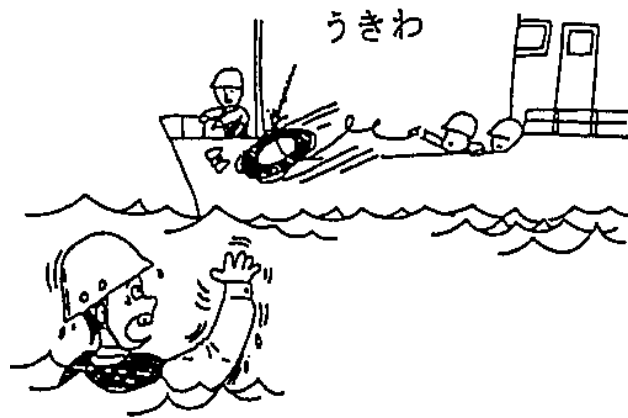
・うごいている きかいに まきこまれないよう きちんと ふくを きます。

きちんとかぶる



○ふねの なかで ちゅういすること

- ・かんぱん（でつき）が あぶらや さかなの ちで すべるときは そうじ します。
- ・かんぱん（でつき）に こぼれた さかなが すかっぱーに つまらないよ うに きをつけます。
- ・はっちの ふたは ただしく しめなければ いけません。 よくしまっていない ふたの うえに のっては いけません。
- ・ひとが うみに おちたのを みたら、おおごえで しらせ うきわ（らいふ・ぶい）など うくものを うみに なげます。



- ・ふねの なかは せまく ゆれるので、あしもとや あたまの うえに ちゅうい します。
- ・うごいている きかいや あみ ろーぷなどには じゅうぶん ちゅうい します。
- ・くらいとき ふねに のったり おりたりするときや ほかの ふねに のりうつるときは とくに ちゅうい します。 あゆみいたを わたるときも ちゅうい します。
- ・くれーんで おもいものを つりあげるときは、にもつの したに ひとが いないことを かくにん します。

8. ふねの なかの きまり

・ふねの なかの こうどうは せんちょうや ぎょろうちょうの しじに
したがいます。

・しごとを なまけたり ほかの のりくみいんの しごとの じゃまを し
てはいけません。

・せんちょうや ぎょろうちょうの ゆるしを もらってから じょうりくし
ます。

・せんないの しょくりょう (たべもの) みず (のみみず) は たいせつに
つかいます。

・ひを つかう ばあいには じゅうぶん ちゅういします。

・せんちょうや ぎょろうちょうの ゆるしを うけないで、せんないに も
のを もちこんだり、せんないから ものを もちだしたり してはいけませ
ん。

・せんないで のりくみいんと けんかや あらそいごとを してはいけませ
ん。

・せんないで まーじゃん かーどなどで かけごとを してはいけません。

・しらない ひとから かねや しなものを うけとっては いけません。

9. まーく (しるし)

・したの まーく (しるし) は 「ひを つかっては いけない」 ところを しめして います。



- ・あかい まーく (しるし) の ある ぱいぷ・・・あぶら
- ・みどり まーく (しるし) の ある ぱいぷ・・・かいすい (うみの みず)
- ・あおい まーく (しるし) の ある ぱいぷ・・・みず (のめる みず)



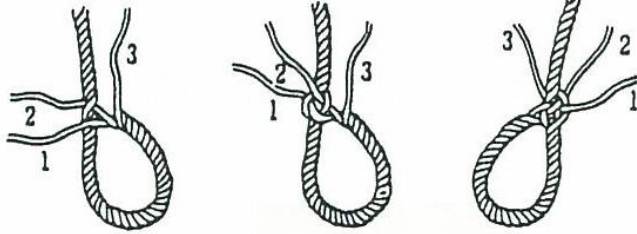
・したの まーく (しるし) は 「ちゅうい する」 ところを しめして います。



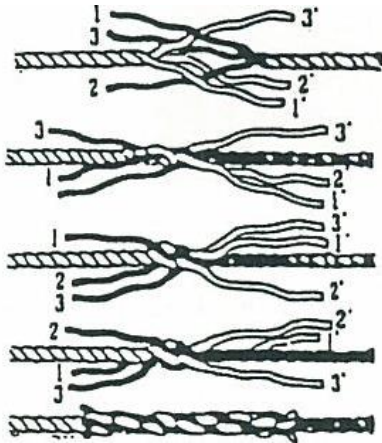
・とらろーぷ (きいろ と くろに ぬられた ろーぷ)
したの ろーぷは あぶないところを しめして います。



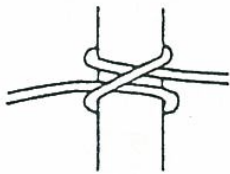
10. ろーぷの むすびかた



あい・すぷらいす：
ろーぷの はしに わを つく
る ほうほうです。



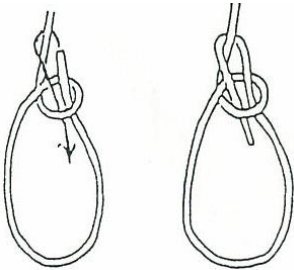
しょーと・すぷらいす：
おなじ ふとさの ろーぷを むすぶ ほう
ほうです。



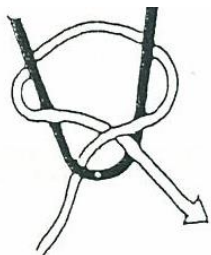
まきむすび：
ろーぷの はしを ほかの ものに むすぶ ほうほうです。



ほんめむすび：
2ほんの ろーぷを かんたん に む
すぶ ほうほうです。



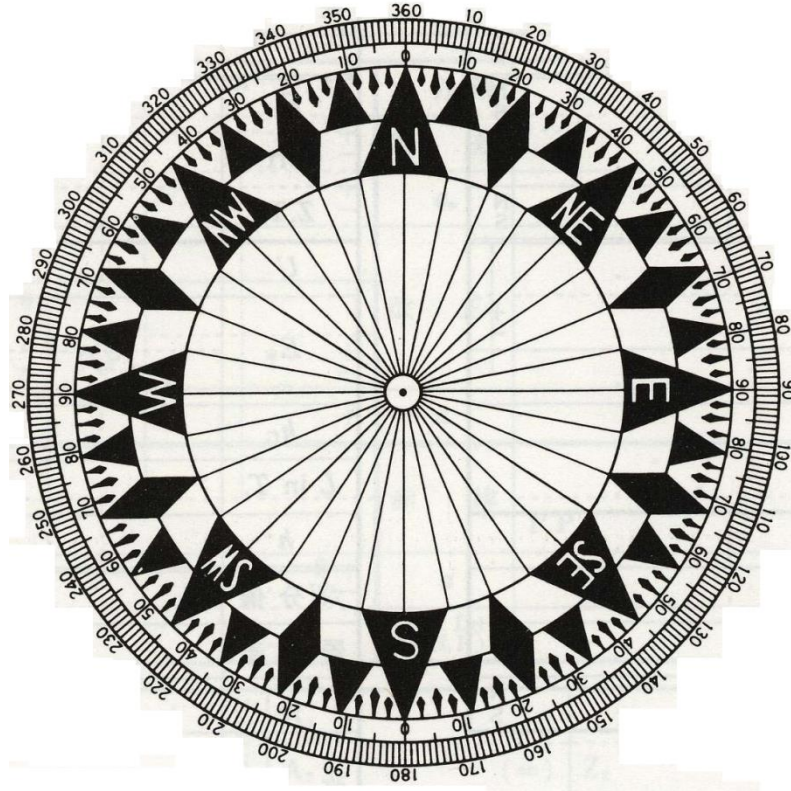
もやいむすび：
ふねを とめるときなどに つかう たいせつな むすびか
た です。



かえるまた：
むすびめが ほどけにくく あみを あむと
きに つかいます。

11. こんばす、かいず、こうほう

○こんばす



こんばすは ふねの いちをだしたり、こーす（しんろ）を きめたりする
たいせつな どうぐです。

おもなところに ろーまじで まーくが かいてあります。

N : のーす (きた)

E : いーすと (ひがし)

S : さうす (みなみ)

W : うえすと (にし)

NE : のーいーす (ほくとう)

SE : さーいーす (なんとう)

SW : さーうえす (なんせい)

NW : のーうえす (ほくせい)

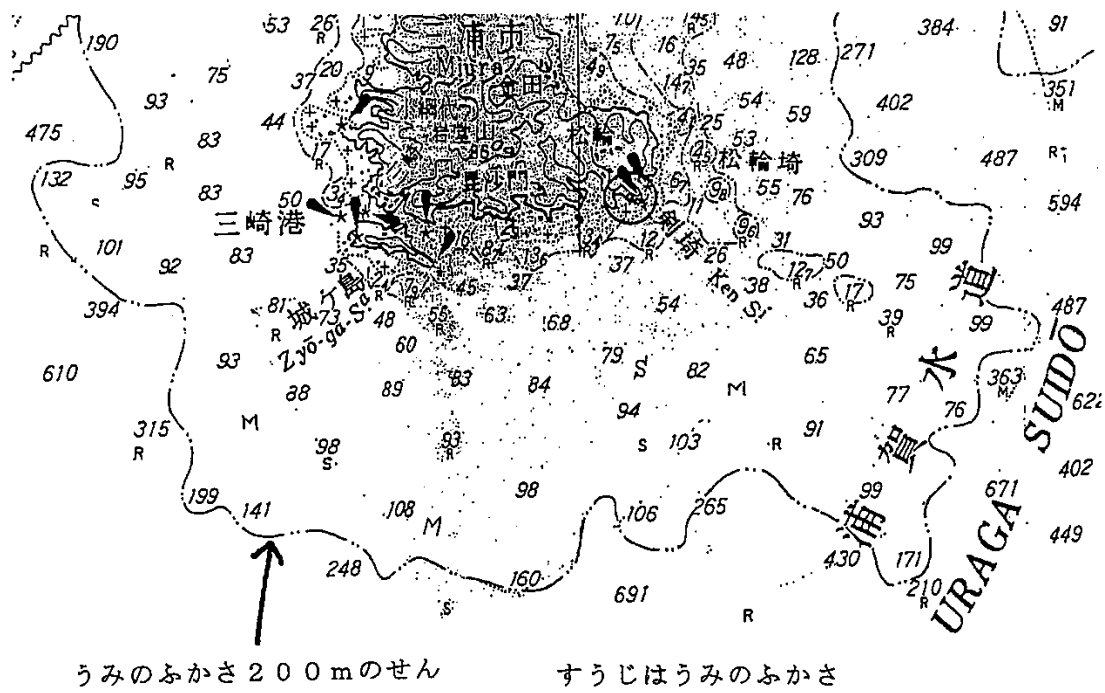
○かいず

かいずには うみの そのようす (ていしつ) も かいてあります。

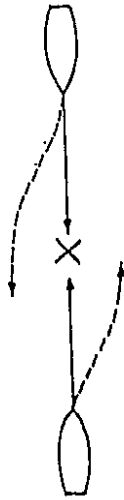
S : すな

M : どろ

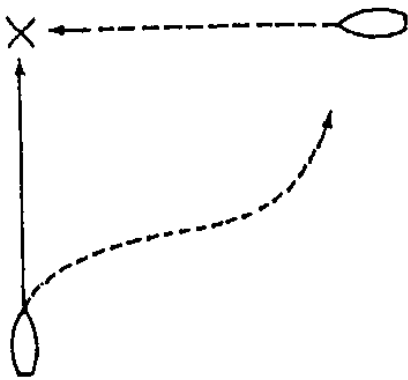
R : いわ



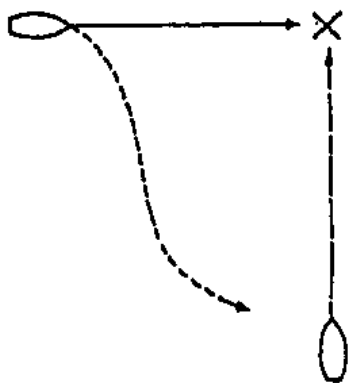
○こうほう



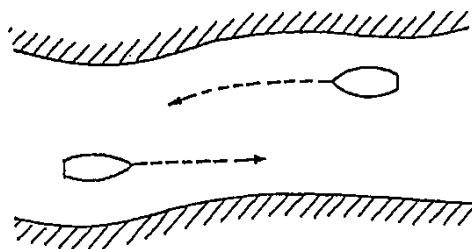
・しょうめんから ふねが きたときは みぎに かじをとって よける。



・まえを よこぎる ふねが きたときは、そのふねが みぎに みえたときには みぎに かじをとるか、そくりよくをおそくして よける。



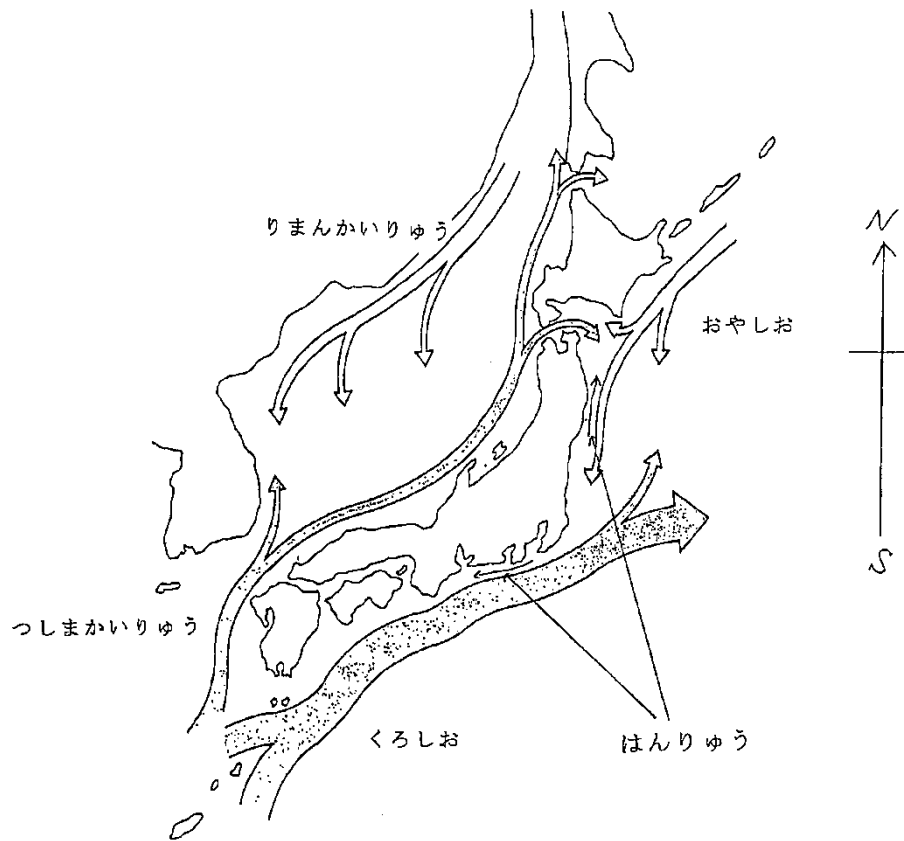
・ひだりの ほうから まえを よこぎる ふねが きたときには、そのふねが よけるので まっすぐにすすむ。あいての ふねが ただしくよけるか どうか じゅうぶん きをつける。



・ふねは みぎがわつうこうが きほんである。

12. かいりゅう、たいりくだな、たいふう、つなみ

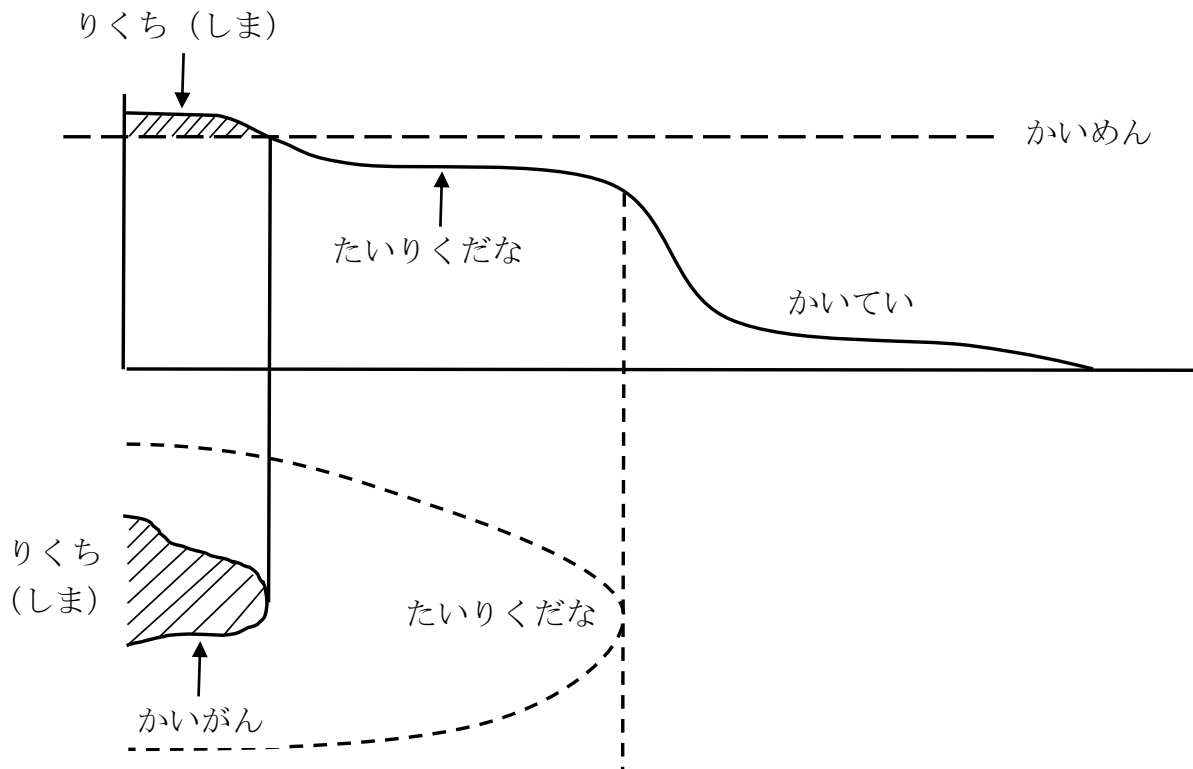
○かいりゅう



- ・くろしおは みなみからくる あたたかい つよい かいりゅうです。
- ・おやしおは きたからくる つめたい かいりゅうです。
- ・えんがんで おきの おもな かいりゅうとは ほんたい ほうこうの ながれがあり、これを はんりゅうと いいます。

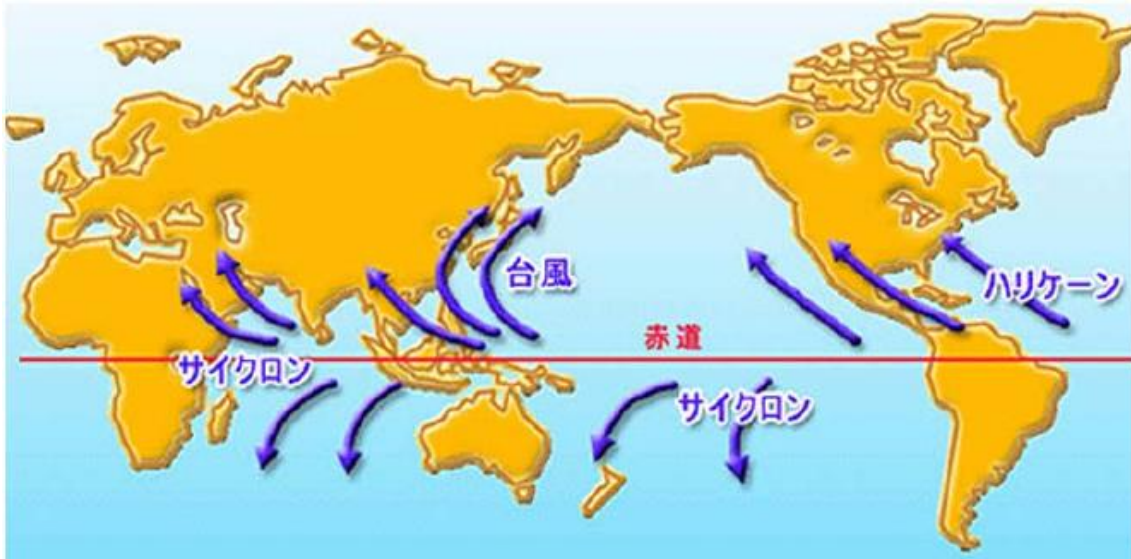
○たいりくだな

・しまや たいりくの まわりは たいらな あさいうみに かこまれていま
す。そのばしょを たいりくだな といいます。



・たいりくだなは くにとつて たいせつな ばしょであり、よい ぎよじ
ようも できる ところです。

○たいふう

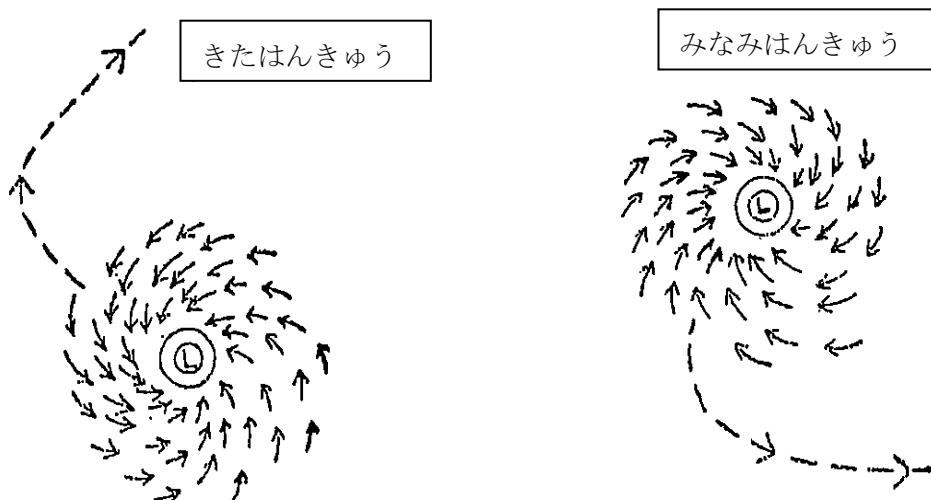


出典：福岡管区気象台 はれるん通信 2013.9.5 号

・つよい ねったいていきあつ は、にほん など、ひがしあじあしゅうへんの たいへいよう でできるものを 「たいふう (台風)」、あめりか などの たいへいよう・たいせいようしゅうへん でできるものを「ハリケーン (ハリケーン)」、いんど や あふりか などの いんどようしゅうへん でできるものを 「さいくろん (サイクロン)」と よびます。

・つよいかぜと たかいなみを おこすので、てんきのようすに よくきをつけなければ なりません。

・きたはんきゅう と みなみはんきゅう では かぜの ふくほうこうが はんたいなので きをつけなければ なりません。



○つなみ

・じしんが あったら すぐ にゅーすを たしかめます。

・とおいところで おきた じしんでも きをつけます。

(みなみあめりかで おきた じしんで つなみが、にほんにも きたことがあります。2004ねんに いんどねしあの すまとらおきで おきたじしんによる つなみが、いんどようを こえて あふりかにまで たっしています。)

・つなみがくるかもしれないとき

こうかいちゅうは ぜんそくで おきにはしります。

みなとに ついているときは すぐに えんじんをかけて おきに はしります。(いそぐときは いかりも もやいづなも すててはしります)

ふねを うごかせないときは すぐにおりて たかいところや じょうぶな びるなどの うえに にげます。

(かいがんに いるときも おなじです)

・つなみは なんかいも くるので きをつけます。

1883ねん いんどねしあの くらかとあかざんの だいはくはつときも おおつなみが きているので、うみに ちかい かざんの ばくはつにも きをつけます。

13. ぎょぎょう ようご

あかしお：

みずのなかで ぷらんくとん（とくに しょくぶつぷらんくとん）が
ふえすぎ、みずのいろが あかや ちゃいろに かわることを あかしおと
いいます。ふえた ぷらんくとんは すいちゅうの さんそを おおくつかい、
また さかなの えらに つまるなど するので さかなや かいが
しんでしまい、ぎょぎょうに おおきな えいきょうを あたえます。

えいようえん：

えいようえんとは せいぶつが 生きるために ひつような ちっそ (N)
りん (P) けいそ (S i) などを いいます。

ふえいようか：

ふえいようかとは みずのなかで ちっそ (N) りん (P) けいそ (S i)
などが ふえすぎる ことです。

げんいんは これらを おおく ふくむ こうじょうや かていの みずを
すてることに よります。

しおめ：

ふたつの ちがった かいりゅうが ぶつかりあっている ところです。
そこでは さざなみが たっていたり、ごみ ながれも ぷらんくとんなどが
あつまっているの で めでみて わかります。

しおめの りょうがわでは、すいおん みずのいろなど みずのせいしつが
きゅうに かわって います。さかななどが たくさん あつまり よい
ぎょじょうと なります。

かいようおせんぼうし：

うみに あぶら、つち、ぷらすちつく、ごみ、つかわなくなった ぎょぐなど
を すてると うみが よごれて しまいます。よごれを ふせぐため、
これらのものをうみに すててはいけないことが ほうりつで きめられて
います。

ゆうしょうりゅう：

ゆうしょうりゅうとは うみのそこのほうの みずが かいめんにあがってくる ことです。かいめんにあがってきた みずは すいおんが ひくく えいようえんが おおいため ぷらんくとんが おおくあつまり よい ぎょじょうと なっています。

うおつきりん：

さかなを そだて あつめたり ぎょじょうの かんきょうを まもるために つくられた もりや はやしを うおつきりんと いいます。まんぐろ一ぶのはやしも ぎょじょうの かんきょうを まもるために じゅうようです。

かिसい の えんぶん：

かिसいに ふくまれている しおなどの りょうの ことです。かिसい 1,000 ぐらむ (1,000g) ちゅうの ぐらむすう (%・ぱーみる) で あらわします。えんぶんの りょうは ふつうの うみでは やく 33~37% (33~37g/1,000g) です。

しげんを たいせつに

にほんでは さかなを とるだけでなく しげんかんりや さいばいぎょぎょうにも とりくんでいます。

しげんかんりは さかなを とりすぎないように いろいろな くふうを することです。

たとえば とるりょうを せいげんしたり ちいさな さかなを とらない ように することです。

さいばいぎょぎょうは しげんを ふやすために にんげんが しゅびょう (さかなの こども) を つくって うみに はなし、おおきくなってから それを とるものです。